

白浜レスキューネットワーク通信 9月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>

e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
白浜レスキューネットワーク**自殺者救済活動**

9月1日～9月30日

電話件数 75件

保護件数 2件

- 24日、以前から白浜に来たいと相談を受けていた20代の男性を保護した。所持金もほとんどない状態で、今後のことに焦りを感じていた。しばらく、共同生活を拠点に就職活動をするようになった。
- 30日、三段壁から電話があり男性を保護した。スタッフが到着する前に、たまたまパトロールしていた警察が声をかけており、一度警察署に行ったのちに保護した。正規の職になかなか採用されず自暴自棄になっていた。話をする中で落ち着き、翌日の早朝、自分の車で帰宅した。

生活自立支援活動

9月1日～9月30日

滞在者数 11人(男性10人,女性1人)

自主退所 0人

- 先月、しばらく行方をくらましていた60代の男性は、毎日勤勉に職場に通い、早く帰ってきたときには夕食の片付けを手伝っている。継続して頑張ってもらいたい。
- 4月に共同生活に加わった10代の男の子の母が、末期の病気であることがわかった。定期的にお見舞いをし、実家にある荷物をこちらに移す方向性で進めることになった。また、本人も共同生活で2年間頑張っていて、さまざまなスキルを身に付けたいと目標を立てた。
- 。まちなかキッチンで働く30代の男性は、

自分の仕事を一生懸命こなしている。また、周囲が助けを必要としている時なども、快く声をかけ手伝ってくれている。継続して良い実を結ぶことができると願っている。

自殺予防活動・まちなかキッチン

弁当部門は忙しい白浜の夏が終わり、先月よりも注文は減った。しかし、近隣の研究施設の朝食弁当、工事現場対応の弁当などの特別弁当の注文が入ってきた。

惣菜部門は、弁当部門と調理担当の人を週1回交換する試みを入れ、新たに一人をアルバイトで雇った。

弁当、惣菜のチラシをリニューアルし、近隣への営業活動を再開した。

・放課後クラブ「コペルくん」

毎日4～5人の子どもが参加した。夜ご飯とお風呂までの「コペルくんプラス」を利用して二人にさらに一人加わった。家庭で過ごす時間が少ない分、コペルくんに来ているときに様々なことに触れ、教えることができたかと考えている。

・はじめ人間自然塾

30日に行った。参加者は2名だった。午前はお靴洗い、鉛筆削りから始まり、竹を切って食

器を作り、飯盒炊飯でカレーを食べた。午後からは、道具を使い「はじめ小屋」の解体作業をした。普段なかなか触れることのない機械を使えることに終始興奮した様子で取り組んでいた。今回は、おおまかな片付けをしたところまでで終わった。次回は屋根や土台など、すべてを解体する予定。



普段は触れない機械で小屋を解体



飯盒炊飯とカレー作り

・少年少女漂流隊

江津良浜で、竹の筏とベニヤ板の船を作り、漂流した。自然環境が整いながらも、なかなかできない経験をこれからもさせていきたいと思っている。

・相談電話

2日、9日、16日、23日、30日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。